

令和5(2023)年度
南和広域医療企業団南奈良看護専門学校
【公募推薦・社会人】入学試験問題

国語総合

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題15までです。試験時間は、50分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは、解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気づいた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

第1問 次の各問いに答えなさい。

問題1 傍線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選べ。

- (1)
- ① クラスでは挨拶を**励行**(げいこう)している。
 - ② **杜撰**(とせん)な工事だったので、床が傾いている。
 - ③ 彼女は事実を**歪曲**(わいきょく)して話をしている。
 - ④ 修行のために諸国を**行脚**(ぎょうきよ)する。
 - ⑤ **垂涎**(すいえん)ものの品をついに手に入れた。
- (2)
- ① 国王は両者に**和睦**(わしん)を提案した。
 - ② 今は**貪欲**(ひんよく)に知識を吸収する時期だ。
 - ③ 試合には**盤石**(ばんじゃく)な態勢で臨もう。
 - ④ 彼は**柔和**(じゅうわ)な笑顔を浮かべた。
 - ⑤ 手術で**病巣**(びょうす)は完全に摘出できた。

問題2 傍線部の漢字や語句の用法が正しいものを一つずつ選べ。

(1) ① インターネットで旅行先の観光場所を険索する。

② 明日までに書類に住所を明記しておいてください。

③ 家族全員でテレビでオリンピック協技を見た。

④ 今年は天候が不純で野菜が育たなかった。

⑤ 彼女が描いた絵は、美術展で可作に選ばれた。

(2) ① 一目散のところ全力で走ったので、盗賊から逃げ切れた。

② 映画は悲しい展開で進んだが、最後は千秋楽で終わった。

③ 傾斜のきつい坂が続き、レースは登竜門にさしかかっている。

④ ヨーロッパを襲った寒波は、未曾有の大惨事となった。

⑤ 父は医者に金字塔を押されるくらい、元気で健康だ。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選べ。

(1) 看護師の資カクを取るために勉強中だ。

- ① 企カクの段階だからどうなるか分からない。
- ② 彼はいよいよ事件のカク心に迫った。
- ③ 列に並んでいる人との間カクを広げる。
- ④ 記念日のワインはカク別な味がする。
- ⑤ そろそろカク悟を決めないといけない。

(2) 紙面の関係上、一部資料をカツ愛しております。

- ① その事件は隣の警察署の管カツになる。
- ② テレビの代金を分カツして支払う。
- ③ 議論が円カツに進んだので早く終わった。
- ④ 彼は作家になることをカツ望している。
- ⑤ 運動会で大カツ躍をしてメダルをもらった。

問題4 次の言葉の意味として正しいものを一つずつ選べ。

(1) 朝礼暮改

- ① 方針などが絶えず変わって定まらないこと。
- ② 春の日が長く、暮れるのが遅いさま。
- ③ 生命は短くて、人生ははかないことのたとえ。
- ④ 故郷を懐かしく思い慕う気持ちのこと。
- ⑤ またとない、よい機会がめぐってくること。

(2) 帯に短し襷たすきに長し

- ① 何か一つでも身につけていれば、困ったときの助けになること。
- ② 物事がどっちつかずの中途半端で役に立たないこと。
- ③ 物事はそれぞれの分野の専門家に任せるのが良いこと。
- ④ 忙しくて、どんなものでも手を借りたいこと。
- ⑤ 程度が過ぎるのはよくないので、何事も短くすること。

(3) 木で鼻をくくる

- ① 夢が早く実現しないかと待ち焦がれるさま。
- ② 人のすること、そばからあれこれ口を出すこと。
- ③ 相手からの相談や要求に対して、無愛想にふるまうさま。
- ④ 悪人を懲らしめるために正義感に燃えているさま。
- ⑤ 自分の能力を発揮したくてじっとしてられないこと。

問題5 次のうち「交渉」と同じ意味を持つ語句として正しいものを一つ選べ。

- ① 外交
- ② 是認
- ③ 議論
- ④ 折衝
- ⑤ 接触

問題6 次のうち「豊富」と反対の意味を持つ語句として正しいものを一つ選べ。

- ① 欠乏
- ② 減少
- ③ 均衡
- ④ 貧相
- ⑤ 一抹

問題7 次のうち『金色夜叉』を著した人物として正しいものを一つ選べ。

- ① 幸田 露伴
- ② 永井 荷風
- ③ 尾崎 紅葉
- ④ 島崎 藤村
- ⑤ 二葉亭 四迷

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

自分の言いたいことを相手に伝えるためには、その内容の意味を明確にすることだと述べましたが、意味を明確にすることは、すなわち対話の中で自分のオリジナリティを出すことにつながります。オリジナリティというと、何か突飛なもの、特異で変わったものというイメージがあるかもしれませんが、そうではありません。ここでいうオリジナリティ（固有性）とは、他からの借り物でない、自分のことばという意味です。

対話が自分の考えを明確にするという性格のものである以上、この問題は避けて通れません。なぜ対話で、自分の考えを明確にしなければならぬかといえば、話す／語るといふ行為において、あなたがめざすものは、最終的には、(ア)あなたでなければいけないものを求めるからです。これが、自分のオリジナリティを出すということです。

従来の考え方は、さまざまな対話の現象を分析し、そこで得られた成功モデルを応用することで、よい対話ができるだろうと考えられてきました。ところが、この考え方の最大の問題点は、この分析とモデル生成が目的化してしまい、その成功モデルを得るための目的主義（目的以外は何も見えなくなくなってしまふこと）に陥ってしまったことなのです。

もしその分析結果をモデル化してマニュアルを作成し、だれでもできるものが出来上がるならば、皆同じようなステップを踏んで同じように上達することでしょう。

ところが、現実はそのようではありません。モデルを示されたからといって、皆同じようになるわけではないのです。さらに、あたかもそうであるかのような幻想を抱かせることが、学習や教育の目的となってしまうところの問題があります。

この世界に、まったく同一の個人が二人というはありませぬ。どんな人でも人間であるかぎり、何らかのオリジナリティを持っているといえるでしょう。したがって、その人、つまりあなたの存在そのものが固有なのだといふことができます。(A)

では、そのオリジナリティについてそれぞれの人がお互いに認識し、それを尊重できているかという点も必ずしもそうではありません。

このことを表現活動としてとらえたとき、忘れてならないのが、前節まで述べてきたとおり、テーマを自分の問題としてとらえるという観点です。つまり、対話という表現活動において大切なことは、それぞれ一人ひとりの活動にそれぞれのオリジナリティをどのようにして表現するかということになるわけです。言い換えれば、個人一人ひとりの中にあるものをどのようにしてそれぞれが認識できるようにするか、という課題なのです。

そのことを自覚的に行うために、対話という行為は、一人ひとりの「私」を通して行われなければならない、つまり「あなたでなければ語れないこと」を話すのだ、ということになります。これが、対話の中で自分のオリジナリティを出すということです。

このことにより、自分のことばで語られた内容は、必ずや相手の心に届きます。これが、話の内容の意味を明確にする、(イ)、わかりやすく話すということにつながるのです。

(B)

相手にわかるように話すことと、自分のオリジナリティを追求することは、一見矛盾する反対のこのように感じる人もいるかもしれませんが、この二つは、それぞれバラバラに存在するものではないのです。

伝えたいことを相手にわかるように話すことが自分と他者の関係における課題であるのに対し、オリジナリティを出すということは、自己内の思考を整理・調整する課題であるといえます。この二つをどのようにして結ぶかということが、対話という活動の課題でもあります。

どんなにすぐれたものつもりでも相手に伝わらなければ、単なる独りよがり過ぎません。また、「言っていることはわかるが、あなたの考えが見えない」というようなコメントが相手から返ってくるようでは、個人の顔の見えない、中身の無いものになってしまいます。一人ひとりのオリジナリティを、どのようにして相手に伝えるか、ということが、ここでの課題となります。

ここで、自分の考えを相手にも受け止めてもらうという活動が必要になります。これをインタラクティブ（相互作用）と呼びます。インタラクティブとは、さまざまな人との相互的なやりとりのことです。自分の内側にある「伝えたいこと」を相手に向けて自らの表現として発信し、その表現の意味を相手と共有し、そこから相手の発信を促すことだと言い換えることもできるでしょう。

テーマを自分の問題としてとらえることで徹底的に自己に即しつつ、これをもう一度（ウ）して自分をつきはなし、説得力のある意見を導き出すためには、さまざまな人とのインタラクティブが不可欠であるといえます。このインタラクティブによって、今まで見えなかった自らの中にあるものが次第に姿を現し、それが相手に伝わるものとして、自らに把握される時、自分のことばで表現されたあなたのオリジナリティが受け止められ、相手にとっても理解できるものとして把握されたとき、対話は次の段階にすすむと考えることができます。◎

相手に伝わるということは、それぞれのオリジナリティをさまざまな人との間で認め合える、ということであり、自分の意見が通るといことは、その共有化されたオリジナリティがまた相手に影響を及ぼしつつ、次の新しいオリジナリティとしてあなた自身の中でとらえなおされるということなのです。これこそが対話という活動の意味だといえることができるでしょう。

そして、あなたの語る内容に相手が賛同してくれるかどうか、対話での最終的な課題となります。なぜなら、さまざまな人間関係の中で、わたしたちを結びつけているのは、「わかった、わかってもらった」という共通理解の実感だからです。

どんな社会的な問題でも、わたしたちはそれぞれの個をくぐらせて、その問題を見つめています。この「私」と問題とのかかわりが、異なる視点と出会い、対話を通して相互の「個」が理解に至ったとき、「わかった、わかってもらった」という実感が喜びをともなう立ち現れてくるのです。この実感がわたしたちに個人としての（エ）存在意義をもたらすものになるのです。そこには、よりよく生きようとするわたしたちの意志とそのためのおぼが重なるのです。

対話は、わたしたち一人ひとりの経験の積み重ねを意味します。

知らず知らずのうちにさまざまな人との対話を積み重ねてきた経験を一度振り返り、そのことよって、これからのよりよい生活や仕事、あるいは人

生のためにもう一度、新しい経験を築いていこうとすること、これが対話について考えることだと、わたしは思います。

一般に対話というと、「Aという意見とBという意見の対立からCという新たなものを生み出す」というような技術論としてとらえられがちですが、ここでは、対話というものを、もう少し大きく、あなた自身のこれからの生き方の課題として向き合ってみようと提案しています。その方法もそれほど限定せず、自由に考えていいと思います。

① ですから、この本では、あなたがこれからの人生でどのような対話をデザインしていくのかを考えるための指標になるような、そうした事例を多く集め、そのための自己表現の考え方や方法について、いろいろな立場に即して提案しています。

対話は、何かを順番に覚えたり記憶したりするものではありません。

他者とのやりとりによって自分の考えをもう一度見直し、さらに自分の意見・主張にまとめていく。この過程で、自分と相手との関係を考え、それぞれの差異を知ることによって相互理解が可能であることを知ります。

さらに、自分と相手を結ぶ活動の仲間たちとともにいるという認識を持てば、**（オ）個人と社会との関係を自覚せざるを得ません。**そこから、「社会とは何か」という問いが生まれ、その問いは、市民としての社会参加という意識につながります。こうした活動によって、テーマのある対話が展開できるような、そういう社会が構築される可能性も生まれます。②

一〇年後、二〇年後の自分の人生はどのようなものだろうか。この迷いの中で、自分にとっての過去・現在・未来を結ぶ、一つの軸を見出すことは、希望進路や職業選択につながっていくプロセスであるばかりでなく、現在の生活や仕事などで抱えている不満や不安、人生のさまざまな局面における危機を乗り越えるためにも有効でしょう。

さまざまな出会いと対話によって自己の経験を可視化する作業は、自分自身の興味・関心に基づいた、生きる目的としてのテーマの発見に必ずやつながるからです。

（出典 細川英雄著『対話をデザインする —— 伝わるとはどういうことか』ちくま新書）

問題8 次の文章は本文の一節である。挿入箇所として最も適切な場所を一つ選べ。

そして、この対話をデザインするのは、あなた自身に他なりません。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

問題9 傍線部(ア)「あなたでなければできないもの」とはどのようなことか最も適切なものを一つ選べ。

- ① 対話から問題点を明確にし、相手に的確なアドバイスをすること。
- ② 自身の考えを明確にし、自分の選んだことばで相手に伝えること。
- ③ 話している内容の意味を把握し、相手に正確な情報を与えること。
- ④ 自分の思考を明確にし、対話中の相手に特別な話し方をすること。
- ⑤ 話す内容の意味を明らかにし、相手が納得する考え方を示すこと。

問題10 空欄(イ)に当てはまる語句として最も適切なものを一つ選べ。

- ① ならびに
- ② それより
- ③ すなわち
- ④ ましてや
- ⑤ なぜなら

問題 11 対話に必要な要素として挙げているもので最も適切なものを一つ選べ。

- ① 自身の誰でもないオリジナリティを表現し説得力をつけて、相手の思考の整理・調整を促すこと。
- ② 他者との意見の差異をもとにして、新たな意見が生み出されるような対話の技術を習得すること。
- ③ 自分の考えを明確にしてオリジナリティとして表現したものが、相手にとっても理解できること。
- ④ 他者の異なる意見を聞いて自己の意見が変化することがないように、自分の意見を主張すること。
- ⑤ 対話の現象を分析したマニュアルをもとに同じような段階を踏んで、成功モデルを応用すること。

問題 12 空欄（ウ）に当てはまる語句として最も適切なものを一つ選べ。

- ① 抽象化
- ② 絶対化
- ③ 同一化
- ④ 普遍化
- ⑤ 相対化

問題 13 傍線部（エ）「存在意識をもたらす」のはどのようなときか。最も適切なものを一つ選べ。

- ① 自己を見直し自分のことばをつむぐことで自らのオリジナリティを表現し、その表現の意味を相手に受け止めてもらえたとき。
- ② 他者と相互的にやりとりをする中で把握され表現された自らのオリジナリティが、さまざまな人との間で共通理解されたとき。
- ③ 自己の思考を整理・調整し自身の内にある「伝えたいこと」を、自らのオリジナリティを表現しながら相手に発信できたとき。
- ④ 自分のオリジナリティを追求し、さまざまな人との相互的なやりとりをする内に、自己の思考を客観視することができたとき。
- ⑤ さまざまな人とのやり取りを通じて自分の中の唯一のオリジナリティを発見し、「私」が固有の存在であると認識できたとき。

問題 14 傍線部(オ)「個人と社会との関係を自覚」するとはどのようなことか。該当しないものを一つ選べ。

- ① 対話を通して、自分と異なる他者を結ぶ活動の仲間の存在に気づき、他者および社会とのつながりを実感すること。
- ② 対話を通して、自己と他者の視点の差異に気がつき、異なる個人がこの社会でも活動している認識を持つこと。
- ③ 対話を通して、自己と他者、個人と社会を結ぶ視点を持ちながら、社会との関係について客観的な視点を持つこと。
- ④ 対話を通して、他者の異なる価値観を理解し、他者と関わりつつ自己・他者・社会を結ぶ関係の意味を考えること。
- ⑤ 対話を通して、価値観の異なる多様な他者と出会い、社会の問題を自分の問題としてとらえる意識を形成すること。

問題 15 次の本文の内容について説明したA～Eのうち、正しいものはいくつあるか。

- A 対話を積み重ねることによって他者との相互作用が生まれ、相手の差異を知り理解することができ、自己の思考と表現が活性化され、さまざまなオリジナリティが出現する。
- B 相手にわかるように話すことと自分のオリジナリティを追求することという矛盾した課題の解決のためには、さまざまな人と対話をする中で生じる相互作用が必要となる。
- C 他者との相互的なやりとりの中で、互いの理解を得るとともに、動きで自己の思考を表現することは、自分の過去、現在、未来を結ぶテーマについて考えることにつながる。
- D 「私でなければ語れないこと」というオリジナリティの視点が、自分の「考えていること」を発見し、それをことばにして他者に伝えることで自分自身を見直すようになる。
- E 多様な他者との対話は、自他の関係を考えさせ、自己の経験を見つめることにより自分のテーマを発見することができるので、人生の危機を乗り越えるためにも有効である。

- ① 一つ
- ② 二つ
- ③ 三つ
- ④ 四つ
- ⑤ 五つ